



淡路ため池ものがたり

～ふるさと淡路の大地を潤す「ため池」の魅力～





はじめに

ため池は、先人が長い時間と労力をかけて造りあげた貴重な財産であり、農家のため池努力により守り続けてきたものです。特に、この淡路は日本一ため池が密集した地域であり、ため池があるからこそ農業用水を確保することができ、今日の淡路の農業発展を支えてきました。

さらに、ため池は淡路の豊かな自然の一部となり、美しい景観や多様な生物がすむ空間を形成することや洪水を減少させることなど、多面的な働きをしています。また、地域の人々の交流や文化を育む舞台として、暮らしになくてはならないものとなっていました。

しかし近年、農業者の高齢化等により、ため池の十分な管理が難しくなり、また、施設の老朽化も進んでいることから、ため池の有する機能が十分に発揮されず、危険なものとして認識される状況が見受けられるようになってきました。

21世紀となり、「食の時代」、「心の豊かさが求められる時代」といわれるなか、ため池の役割を改めて考え、暮らしの中で守り、生かし、次代へ受け継いでいくことが望まれます。

このたび、各種文献やため池管理者の話をもとに、淡路島のため池の歴史や自然、生活文化との関わりなどを「淡路ため池ものがたり」としてとりまとめました。この冊子により、今一度、ふるさと淡路島が誇るため池の魅力や価値を見つめ直し、次代へと伝えていきたいと思います。

にしのおけ えなみかみはた
西ノ池(南あわじ市榎列上幡多)

もくじ

はじめに	1	第5章：民話	18
第1章：日本一ため池が密集する地域「淡路島」	2	第6章：信仰の話	22
第2章：歴史の話	6	第7章：生活文化の話	26
第3章：技術の話	10	第8章：ため池を舞台とした活動	30
第4章：自然の話	14	あとがき	33